

交通事故警戒情報 2023年7月



7月11日(火)~20日(木)は、夏の交通安全県民運動期間です。

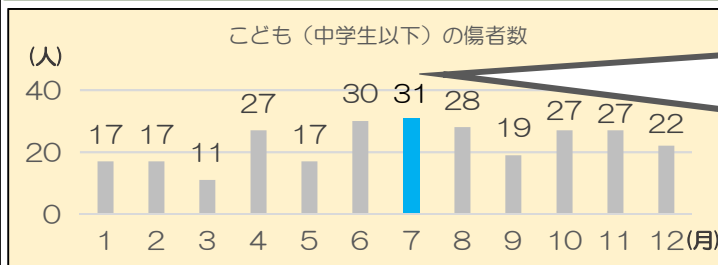
夏休みに入る子どもたちを交通事故から守りましょう。



7月の交通事故の特徴と交通事故防止ポイント

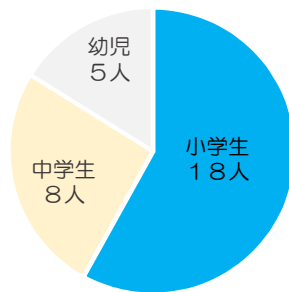
【過去5年間(H30~R4)の県内発生交通人身事故統計データより】

7月の交通事故の特徴



子ども(中学生以下)の負傷者が年間最多!

学業別

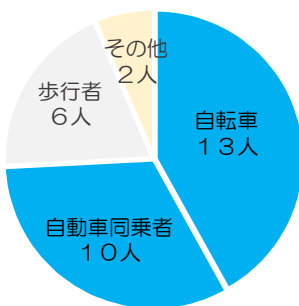


小学生の負傷者が約6割(31人中18人)!

小学生の負傷者のうち約4割が小学1年生(18人中7人)

低年齢であるほど、交通ルールの理解や危険回避の判断・行動が不十分であると考えられる一方、夏休みに入るなど保護者を離れ行動範囲が広がるため、交通事故に遭いやすい状況が想定されます。交通事故から子どもの大切な命を守るため、運転者や保護者の皆さんによって、子どもの交通安全をサポートしましょう。

状態別



自転車乗車中の負傷者が約4割(31人中13人)!

自転車乗車中の負傷者のうち約7割がヘルメット非着用(13人中9人)

自転車に乗る全ての方はヘルメットを着用しましょう! 保護者の皆さんは、子どもが自転車を運転する際は、ヘルメットをかぶらせるようにしましょう。

自動車同乗中の負傷者が約3割(31人中10人)!

シートベルトを全席着用させることは、運転者の義務です! 子どもを悲惨な事故から守るためにも、全席シートベルト着用を徹底しましょう。

夏休みに入ると、子どもの外出の機会が増えることにより、事故リスクが上昇することが考えられます。

ドライバーの皆さんは、より一層、子どもの存在に細心の注意を払い、慎重にハンドルを握りましょう。